

- ①下記の申込専用フォームから申し込む
- ②申込用紙にて、メールまたはFAXで申し込む（24時間受付）
- ③電話または直接県男女共同参画センターで申し込む
（受付時間9:00～17:00/月曜休館 ※祝日の場合は翌日）

- お名前・連絡先・参加希望プログラム・託児の希望の有無をお知らせください。
- 申込用紙はカクイックス交流センター（かごしま県民交流センター）ホームページ「トピックス」からダウンロードできます。

※7月26日は事前申込みにより託児が可能です。

（生後6ヶ月～小学2年生まで/申込締切7月12日）

申込専用フォーム▶



鹿児島で Well-being 聴こう・話そう 考えよう

鹿児島県男女共同参画週間事業

●申込み・問合せ先●

鹿児島県男女共同参画センター
（カクイックス交流センター内 男女共同参画推進課）

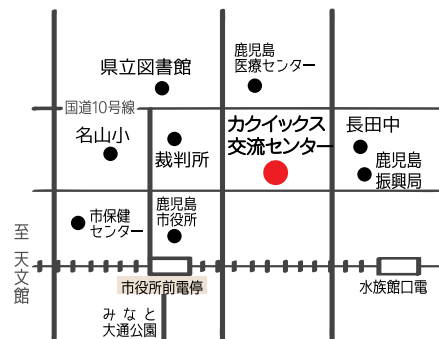
〒892-0816 鹿児島市山下町14-50

電話 099-221-6603

FAX 099-221-6640

E-mail p-harmony@pref.kagoshima.lg.jp

URL <https://www.kagoshima-pac.jp>



※駐車場あり。参加者は無料。

2026 0725 0726 0727 0728 0729 0730 0731

主催：鹿児島県 受託団体：かごしま女性政策研究会

- 2026鹿児島県男女共同参画週間事業 ● 鹿児島県では、広く県民の間に、男女共同参画についての関心と理解を深めるとともに、積極的に男女共同参画の推進に関する活動を行う意欲を高めるため、7月25日～31日を男女共同参画週間と定めています。

2025年、団塊世代が全員75歳以上になり、国民の5人に1人が後期高齢者になりました。2040年には、団塊ジュニア世代の多くが65歳以上となり、日本の高齢者人口はピークに達し、国民の3人に1人が高齢者になることが予測されています。

2025年問題から、2040年問題と、、、私たちの社会は、今、大きな分岐点に立っています。

「地方創生2.0基本構想」には、人口減少を正面から受け止め、若者や女性にも選ばれる地域づくりの重要性が示されています。

性別や年齢にかかわらず、一人ひとりが「自分らしく生きる」ことができ、幸せを実感できる、誰もが「鹿児島に生まれてよかった」と心から思える、若者や女性に選ばれる・・・そんなWell-beingな鹿児島の未来に向けて・・・、「男女共同参画・ジェンダー平等」の視点で、あなたも、これまでの歩みを振り返り、これからを語り合い、考えてみませんか。

展示 男女共同参画・ジェンダー平等の視点でみる“2040年問題”

2026 **7/25(土) - 31(金)** ※月曜休館
カイクックス交流センター 1階レクチャースペース

2026 **7/25(土) - 8/31(月)** 県庁1階ロビー

市町村での実施も予定しています。お近くでの展示については、各市町村の男女共同参画担当課へお問い合わせください。

2040年まで14年。私たち一人ひとりが当事者意識を持って社会課題を共有し、共に解決の道を探り、未来への展望がひらかれることを願って、私たちの「いま」に関わる多様なデータを展示します。これらのデータに自分ごととして向き合えば、あなたには、何が見えるのでしょうか。

ワークショップ こまったからはじまる!世界でひとつの え・ほ・ん・づ・く・り

2026 **7/25(土) 13:30-16:30**
カイクックス交流センター 西棟2階 中ホール

対象 小学生・中学生
定員 20名

2040年、あなたはいくつ??これから先、いろんなヒト・モノ・コトに出会い続ける私たち!ちがいにとまどったり、はじめてにこまったり、いろんなドギマギをのりこえて、自分で作る自分の毎日!初めての人、初めての場所で、初めてのことをやってみよう!夏休みの始まりに、遊びにきてくれることを楽しみに待ってるね!

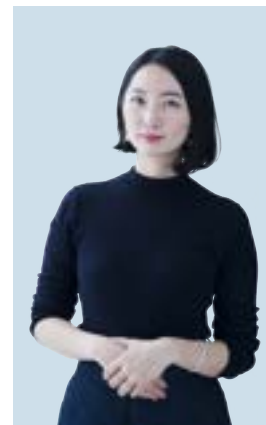
講演 地方女子たちの選択

2026 **7/26(日) 13:30-14:40**
カイクックス交流センター 西棟2階 中ホール

対象 どなたでも
定員 100名

富山で生まれ育ち、進学を機に地元を離れ、「生まれた場所や時代の影響」が想像以上に自分の人生を形作っていたことに気づいたことから「地方」と「女性」をテーマに小説を書き続ける山内マリコさん。昨年、山内さん自身の経験と、富山県で生きる女性たち14人のライフストーリーの聞き取りで構成された『地方女子たちの選択』を上野千鶴子さんらとの共著で刊行。鹿児島で生きるこのこれまでとこれからを、一人ひとりが自分事に寄せてジェンダー視点で考えるきっかけとなる講演会を開催します。

講師: 山内マリコさん



1980年富山県生まれ。2008年「女による女のためのR-18文学賞」読者賞を受賞し、地方都市に暮らす女性たちの群像を描いた『ここは退屈迎えに来て』で2012年に小説家デビュー。同作と『アズミ・ハルコは行方不明』『あのこは貴族』がこれまでに映画化されている。

2022年、作家18名と連名で、原作者の立場から映画業界の性暴力・性加害の撲滅を求めるステートメントを発表。同年6月より日本文藝家協会理事を務める。日本ペンクラブ女性作家委員会でも活動中。小説やエッセイのほか、昨年は上野千鶴子さんらとの共著『地方女子たちの選択』(桂書房)を刊行。

対話ワークショップ 聴こう、話そう、考えよう!

2026 **7/26(日) 14:50-16:00**
カイクックス交流センター 西棟2階 中ホール

対象 どなたでも
定員 100名

講演を聴いて、思ったこと、考えたこと、引き出された自身の経験などなど、、、。「生まれた場所や時代の影響」に照らして、自分のこれまでを考えながら、対話します。



- 7月26日は、事前申し込み(7月12日締切)により託児が可能です。
- 参加費は全て無料ですが展示以外はお申し込みが必要です。裏面をご覧ください。